看護職の再就職を応援する情報誌　TOKYOナースプラザ　Vol.58　2013.9.1

やっぱり看護が好き

座談会

応援します！あなたの復職
看護職員地域確保復職支援
研修病院に聞く

Interview　これからの看護

生命力を引き出す訪問看護の力
――暮らしの中で寄り添って――

おすすめ研修

急変時の看護

看護職の就職応援フェア

東京都ナースプラザ

生命力を引き出す訪問看護の力
――暮らしの中で寄り添って――

平原 優美さん
あすか山訪問看護ステーション 統括所長　在宅看護専門看護師

地元の看護学校卒業後に保健師と養護教諭の資格を取得した平原優美さん。看護師として4年間の病院勤務を経験したのち結婚を機に上京、地域医療に携わるようになりました。それから現在まで、地域の中で信頼関係を構築しながら、全力で利用者や家族の心身に寄り添ってきました。

あすか山訪問看護ステーションのスタッフは30人。平原さんは所長として、看護師ほか大勢のスタッフを統括しています。

「朝一番に呼吸器を装着している乳児を入浴させ、次にターミナルケアを受けている方の麻薬管理を行い、昼食後には精神疾患を患っている方の服薬を確認して、夕方、文字盤でコミュニケーションをとりながら難病の方の呼吸器管理を行う。このステーションに勤務する看護師にとって、これはごく普通の1日です」。約240人の利用者は、乳幼児から高齢者まで年齢層は幅広く疾患もさまざまです。

「この仕事を始めてから、町の風景はそこここに利用者の方の思い出がちりばめられた、かけがえのないものになりました。病院の看護は生活から切り離された患者さんと関わりますが、訪問看護は利用者の方や家族がずっと続けてこられた生活の場で関わります。利用者だった方のお孫さんに10年後ばったり出会って話をする、あるいは終末期を迎えた方が、夏祭りに親しんできた町内会の人たちと良い時間を過ごせたなど、暮らしの中で寄り添うことに大きなやりがいを感じています」。

平原さんは、「最近、孤独に外来化学療法を受けているがんの患者さんが増えている」と、乳がん術後の50代女性のケースを紹介してくれました。その方は、外来化学療法を受けているものの余命半年と診断されていました。リンパ浮腫で手足はむくんでおり、創咳開による激痛を抑えるために処方されている麻薬の眠気もあって、ほとんど動けず横になったままの状態でした。まず平原さんたちは毎日時間をかけて手足のマッサージを行い、包帯圧迫を続けました。その効果が現れ徐々にむくみがとれてくると、女性の中に動きたいという前向きな気持ちが生まれてきました。外来受診に同行してキシロカインスプレーの処方を医師に相談し、麻薬を徐々に減量していきました。それに伴い女性は元気を取り戻していったそうです。動けるようになると創も次第に回復していきました。

「その方は、"一緒にやってみましょうよ、という誰かが側にいてくれるようになり、やっと笑顔になれた"と言われました。非常に厳しい状況の中で何とか寄り添いたいと関わったことで信頼関係が生まれ、諦めていた気持ちが前向きに変わり、大きな生命力が引き出されたのだと思います。それから2年を経過し、現在も前向きに生活していらっしゃいます。心と体が元気になるために大事なのは、人と人との関わりなのだということを教えていただきました」。

この経験は、その後の平原さんの看護の姿勢に大きく影響することとなりました。「病院は臓器や機能に細分化した見方をするところですし、それらが悪い話はしますが、良い話はあまりしません。訪問看護は良い機能も含めて体全体を知っていただいたうえで生き方を問いかけ、それが実現できるよう支援します。でも、看護師自身その役割が果たせることを理解していないことが多いのではないでしょうか。この素晴らしい役割をぜひ伝えていきたいですね」。

同ステーションでは、若手の育成にも力を注いでおり、訪問看護未経験の看護師が勉強するためのカリキュラムも作成しています。「訪問看護は自分で考えて判断する仕事。出産などで二度リタイアした看護師も、人生経験を活かせる仕事だと思います」。

●プロフィール
平原 優美（ひらはら ゆみ）
島根県立総合看護学院卒業後、島根県立中央病院勤務などを経て、2006年よりあすか山訪問看護ステーション所長。11年首都大学東京大学院を修了し、統括所長に。特定非営利活動法人（NPO法人）日本ホスピス緩和ケア協会の外部理事も務める。日本心理学会認定心理士。

第2四半期おすすめ研修

急変時の看護

●対象者：都内在住で就業を希望する離職中の看護職（要ナースバンク登録）、都内の中小規模施設に勤務する看護職
●実施日時：2013年6月19日（水）12時00分～15時30分
●定員：20名
●講師：輿水（こしみず）智美先生（青梅市立総合病院・救急看護認定看護師）
演習助手：戸梶 稔子さん・戸部 宏美さん（青梅市立総合病院）

本研修は多摩地域の方が出席しやすい、ナースバンク立川で開催されました。定員を大きく上回る出席者で、研修室の後方壁際まで椅子が並びました。

輿水先生の講義では、「急変」とはどういう状態をいうのか、年齢層別にはどんな急変が起こりうるのか、どんな場所で起こるかなどの基礎知識と、看護の現場・病棟で起こりうる急変時の観察と対応について教えていただきました。急変時は迅速な判断と適切な処置が患者さんの生命を救うことに直結します。さらに、看護職は医療の現場で患者さんと一緒にいる機会・時間が一番多く、急変の第一発見者になる可能性が最も高いことをあげて、輿水先生は、習得の重要性を強調されました。

講義終了後は、人体モデルを使った演習を見学しました。演習助手の戸梶さん・戸部さんも加わった演習で、心肺蘇生の手順を、AEDの操作、胸骨圧迫、気道確保、気管挿管を含めて、実際に見せていただきました。4グループに分かれての実習では、全員が人体モデルを使って心肺蘇生の手順を体験しました。

この研修は、11月20日（水）、ナースバンク立川での開催が予定されています。

＊2月14日（金）には東京都ナースプラザで「求職者のための急変時の看護」の開催も予定されています。

輿水先生の講義の様子。こじんまりした研修室でスライドの要点を直接指示

演習を真剣に見学。病棟での急変への対応は、大声で応援を呼ぶことから

心肺蘇生の実習。「もっと力を入れて」。やってみてわかることがたくさんあります。

研修終了後は同日開催の「ふれあいナースバンク」に参加しました。

風疹の大流行と先天性風疹症候群の発生動向

東京都内の風疹の発生数は、2008～11年まで年間15～46人でした。それが12年、東南アジアでの流行に伴って年間672人となり、現在も大きな流行が続いています。13年の累計発生数は、8月11日現在で3,278人にものぼっています。

性別・年齢別でみたとき、発生割合が最も高いのが20～40歳代の男性で、全体の約65％を占めています。女性では患者報告数の約45％を20歳代が占め、最も多くなっています。この発生状況はワクチン接種制度の変遷と抗体保有状況に裏打ちされており、1990年4月1日以前に生まれた人は男女とも、接種を受けていても抗体が不十分な可能性があります。抗体保有の確認とワクチン接種の重要性が指摘されているのは周知のとおりです。

風疹ウイルス感染の最大の問題は先天性風疹症候群の発生です。今回の流行に伴って都内では、3月に1人、6月に2人、7月に1人、8月に2人の発生が報告されています。発生割合の高い年代が子どもをもつ年代と重なっており、発生件数が急増した春先から初夏にかけて胎児に感染が起こっている可能性があることから、今秋から冬にかけての出産での発生が懸念されます。

参考
1）東京都感染症情報センター http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/
2）IASR Vol. 34, No.4（No. 398）April 2013

座談会●やっぱり看護が好き

応援します！あなたの復職 看護職員地域確保復職支援研修病院に聞く

〈出席者〉

村田 かず子さん
〔医療法人柏堤会(財団)奥沢病院 看護部長〕

木村 由起子さん
〔医療法人社団順江会江東病院 看護部長〕

菅原 正子さん
〔医療法人社団恵仁会府中恵仁会病院 看護部長補佐〕

山岡 俊枝看護師等就業協力員
〔東京都ナースプラザ〕

須釜 なつみ所長〈司会〉
〔東京都ナースプラザ／平成25年4月着任〕

※出順は病院名(法人名略)50音順

村田さん

木村さん

自宅近くで研修を受け復職を目指す復職支援研修は開始から7年目を迎え、受け入れ側のノウハウも蓄積されてきました。復職への第一歩を踏み出すなら今がチャンス！この研修を通してあなたを応援する現場の声をお届けします。

復職研修支援病院を引き受けてから現在まで

須釜 わが国の潜在看護職は推定で約65万人。そのうちの1割、6～7万人近くの方が東京都内に潜在化していると推察しています。復職支援研修（以下、復職研修：表1・2）は、今年度で開始から7年目を迎えました。昨年度末の時点で、総参加者数は2,136人、うち再就業者が1,248人と60％近い就業率です。現在、復職研修支援病院（以下、研修病院）を31病院にお願いしていますが、本日は、その中の3病院から、中心になって復職研修を推進してくださっている方々においでいただきました。ご所属病院の紹介と行っている研修については下欄の「病院と実施復職支援研修の紹介」も参照いただくとして、まず、復職研修を引き受けようと思った理由をお聞きしたいと思います。

木村 平成19年は、ちょうど7対1看護配置が設けられた年で、江東病院も看護師不足で苦しいときでした。看護師の確保・定着のためには何でもやってみるしかないという手探りの中、復職研修を始めました。

菅原 府中恵仁会病院は20年度から復職研修を始めました。当院でも、復職研修は人材確保の一つと考えて引き受けさせていただいております。

村田 私は、昨年2月に神奈川県から転勤してきました。前任の部長から研修を引き継ぎましたが、私自身、復職研修には以前から積極的に取り組んでおりましたので、奥沢病院でも、ぜひともやらせていただこうと、続けています。

須釜 看護師不足や多忙な業務の中で始めたわけですから、ご苦労があったことと思います。この研修を受け入れてから、職場の中ではどんな変化がありましたか。

木村 最初は教育委員7～8人を総動員し、復職研修にあたることにしましたが、職員からは忙しいからとても受け入れられないという反応でした。でも、この6年の変化は本当に目覚しく、少しずつ定着してきました。これは、受け入れてくれた現場の頑張りだといつも思っています。最近は「今年もやるんでしょう、いつからですか、早く決めてきてください」といわれます（笑）。

村田 研修も3年目となり9・11・2月に行うことが定着しています。病棟は日によって1日中忙しい日もあります。その中で研修をしていますと、「今日はちょっと忙しくて、うまく説明できなかったけど、ごめんなさいね」という指導者の言葉が聞こえてくることがあります。看護師は根がまじめなので、自分の役割は、研修生にちゃんと教えて満足して帰ってもらうことだと思っています。変化というよりはそれができる環境に変えなければいけないと思います。

菅原 当院でも復職研修は定着していて、組織的にも確立しています。「また時期が来ましたのでよろしくお願いします」と各部署長に日時をお知らせすると、それぞれの部門で講義や研修を快く引き受けてくれます。私は今年で3年復職研修に関わらせていただいておりますが、病院全体としてどういった講義を誰がすることが効果的か考え計画しています。たとえば、リハビリ技師や臨床工学技師、薬剤師などの他職種も含めて、病院全体として人を育てることに関われるようになりました。これは、復職研修を引き受けているどの病院も同じかと思います。

須釜 いまお話をうかがうと、チーム医療という点でも復職研修を活用していただいているのですね。病院として看護師を大切にしていただいているということで、たいへんありがたく思います。

復職研修支援病院への研修生就業状況

山岡 研修生が復職研修を受ける理由の約60％が

病院と実施復職支援研修の紹介

奥沢病院（世田谷区奥沢）

94床の急性期の一般病院で、東京都指定二次医療機関として、東京都西南部の地域医療の一翼を担っています。看護部は人材育成と働き続けられる職場作りを目指しています。

復職研修は、医療・看護の動向をはじめとして、医療安全、感染対策など、新たな知識の習得や、病棟実習でのケアを中心とした体験学習です。研修の一番のねらいは、職員が生き生きと働いているところを見てもらい、もう一度看護師をやりたいと思っていただくことです。受講生の皆さんのほとんどは、最初は表情が不安そうですが、研修が終了するころには明るくなり、前向きな

菅原さん

山岡就業協力員

須釜所長

「就業したい」で、約20％の方が「研修病院に興味がある」としています。研修生は就業先の一つとして研修病院をみており、研修を、指導や受け入れ体制などについて、確認する機会としても捉えているのではないかと思います。

菅原　実際、復職研修から当院に就職してくださる人は多いです。平均して毎年5名ほどが就職しており、23・24年度に関しては、いまのところ、どなたも離職していません。職場の中に溶け込んで頑張っています。その中に常勤職員として入職した人が2名いますので、復職研修を受けて戻ってきてくれる人たちの力に、大いに期待しています。

村田　昨年は14名が研修に参加され、うち2名がこの6月から当院に就職しました。ほかの病院にも4名が復職しています。私が研修に取り組んでいる思いは、とにかく復職してほしいということです。研修の中ではせっかく復職研修を受けようという気持ちになったのだから必ずどこかで復職してくださいと言っています。

菅原　私も、復職研修で「当院へどうぞ」は禁句だと思っています。地域に還元できればと思って実施しております。その中で、たまたまうちを選んでくださった方はウェルカムで受け入れています。

木村　今数えてみましたら、うちでは6年間で35名が復職研修から就職しています。離職期間の長い方や非常勤での就職を希望する方などには、まず復職研修をお勧めしています。研修を通して病院をみてもらったり、就業相談を受けたりしながら、場合によっては、地域の他の病院にも視野を拡げてもらっています。

こういったとき、所属している第7医療圏でうまく人員配置ができないものかと考えます。研修病院の使命として地域に貢献しなければいけないと思っているのですが。

須釜　お話をうかがっていて、現場の意識の刷新をリードしているのは、やはり、看護部長さんなのだなと思いました。

木村　ナースプラザの就業協力員の方が、公平な立場でその方をどうしようかと考えてフォローしてくれます。いい話をしてくれて、的確な職場を選んでくださるのもとてもいいと思います。単独ではできないことがたくさんありますので。

研修生を受け入れるときの配慮

須釜　復職研修で研修生を受け入れるときに、特に配慮していただいている点はありますか。

菅原　まず、どういうところを経験してきてどれだけの技術を持っているのか、離職期間はどのくらいか、こういったバックグラウンドの情報は出していただくようお願いしています。また、就職を希望している施設や部署についてもお聞きします。希望している施設でどのような知識や技術が必要になってくるかということをアドバイスして差し上げるのは重要だと思います。そこで必要なものは可能なかぎり体験できるようにと思い、「何かリクエストがありますか」とお聞きします。

村田　まず楽しく研修をしてもらうことを心がけています。看護のやりがいを思い出してもらうためです。ただ、看護の現場は楽しいばかりではなく、厳しい部分もあることは付け加えます。

木村　これまでは入れていなかったのですが、数年前から外来の見学を入れるようにしました。うちに研修に来るからには病棟希望だろうと思っていたのですが、話を聞いてみると、クリニックや外来も選択肢の一つとして考えている人が案外います。そこで、半日で外来の3科を見学してもらうことにしました。

須釜　標準のプログラムは病棟だけですからね。

木村　そうなのです。それと病棟は何科を実習したいかという希望を取るようにしています。自分がやりたいところが今いまどうなっているかという興味から入っていただくのは大事だと思いますので、なるべく希望に沿うように実習病棟を決めるようにしました。

表1）東京都看護職員地域確保 復職支援研修の概要

対象	保健師、助産師、看護師、准看護師のいずれかの資格を有し、現在離職中で、就職先が決まっていない方。東京都内に就業希望の方。（受講時にナースバンクに登録が必要です）
内容	最新の医療に関する講義、採血や注射等の模型や医療機器を使っての演習、病棟実習。訪問看護ステーション・診療所・介護施設・福祉施設での看護体験。 研修終了後、復職に向けての悩みや働き方などについて個別の相談を受けられます。
費用	受講料無料

表2）復職支援研修の標準的なプログラム

プログラムの種類	日数	主な内容
●Ⅰ型	1日	講義をメインとするプログラムです。いずれ再就職したいと考えている方にお勧めです。
●Ⅱ型	5日	模型や実際の医療機器を使用しての演習をメインとするプログラムです。基本的技術の確認などができるので、再就業に向けて少しずつ準備をしたい方にお勧めです。
●Ⅲ型（○助産師コース）	7日	Ⅱ型研修終了後、病棟における実習をメインとするプログラムです。基本的技術の確認と、臨床での勘を少しずつ取り戻したいと考えている方、近い将来の再就業を希望する方におすすめです。 ☆助産師の研修もあります。
○訪問看護ステーションコース ○その他施設での研修	2日～5日	病院での1日、5日、7日研修を修了後、訪問看護ステーション研修、更に診療所・介護施設・福祉施設などでの研修を希望する方のためのプログラムです。 ライフスタイルに合わせた職場選択を可能にします。

1. 標準的な研修プログラムには、3種類（Ⅰ～Ⅲ型）のプログラム及び助産師コースがあります。
2. 標準的な研修プログラム終了後、さらに希望される方は、訪問看護ステーション、クリニック、介護・福祉施設などの研修（2～5日間）が受講できます。

詳細は東京ナースプラザHPをご参照ください。 **https://www.np-tokyo.jp/fukushoku/fukushoku.html**

江東病院（江東区大島）

一般病棟256床と回復期リハビリテーション30床の計286床の病院です。31床の血液浄化センターを有し、20科の診療科体制をとっており、地域住民の健康に総合的に寄与しています。

看護部の特徴は、新卒、中途採用、復職看護師などの多様な構成であり、さまざまな勤務形態の看護師でも、ラダー別教育システムで目標管理を実施する仕組みがあります。

復職研修は事業開始年度から7年間継続しており、いつも就業意欲を強くお持ちの受講生の方から当院もパワーをいただき、双方向で良好なコミュニケーションがとれていると思います。

府中恵仁会病院（府中市）

一般病棟172床と療養リハビリテーション45床の計217床の病院です。年間4,000台以上の救急車を受け入れており、地域医療支援病院を目指して、地域医療の連携に力を入れています。「保健・医療・福祉」を総合的にみていけるよう、医療チーム一丸となって取り組んでいます。

復職研修は、標準プログラムに沿って立案し実施しています。慢性期医療の現場は急性期医療依存度の高い患者さんに移行していますので、可能なかぎり、リクエストに対応できるよう、内容を吟味して実施しています。最新の知識・技術の習得が自信につながると思いますので、演習時間を十分とれるようにしております。

発言をしています。研修をやっていてよかったなあと感じる瞬間です。

須釜　しっかりしたイメージをもってもらうための見学は重要だと思います。さまざまな配慮をいただいており、本当にありがたいですね。

山岡　私たち就業協力員が初日にうかがったとき、研修生の中には、7日間・Ⅲ型の研修（表2）を最後までできるかと心配する方もいます。看護部長さんはじめ病院の方々の協力で最後まで実習ができ、研修生がとても喜んでいる姿をみると、私たちも感謝したい気持ちになります。

木村　いずれ復職研修は復職研修の卒業生が担当として企画するということを夢見ています。いつ教育委員会に入れようかなと思ってねらっているところです。（笑）。

須釜　自分が受けた研修の計画を立てるほうに回るということですね。それは楽しみですね。新人さんの研修や施設見学のときに、前年に入職した方が「いま私はここに就職して」という経験を話す場面は多いですが、再修業した人たちにもそういう場面があるといいですね。

研修仲間同士、お互い背中を押し合って

村田　この研修を受ける研修生は、看護師同士で共通の話題がありますので、初めて会う人たちでもすぐ打ち解けますね。

木村　地域の病院がやっているところにも意味があるような気がします。

須釜　自宅近くにある研修施設で学んだからこそ、不安や悩みを共感する仲間づくりにつながっている、というところでしょうね。本当に楽しそうにしていますものね。

菅原　研修が終わった後に打ち上げをしているようです。ついこの間ですが、「勤めてから6カ月経ったから、今日は復職研修で友達になった仲間同士で集まるんです」という話を聞きました。強い団結力でつながっていて、お互いに情報交換しながらコミュニケーションを深めているようで、いいなと思って見ています。

木村　受講者の話を、余裕を持って聞くようになって、主婦でお母さんという自分の位置に、ずっと不安定さを感じているのが専門職なんだなということに、こちらが気づかされることがありました。

前列左から：菅原さん、村田さん
後列左から：山岡就業協力員、木村さん、須釜所長

山岡　社会につながっていたいと潜在的に思っていて、いつ殻を破って復職に向かって進むかを待っている状態にある。そういうところで復職研修が、そのきっかけになっているのではないでしょうか。

須釜　それはあるでしょうね。

木村　私たちが背中を押しているというよりも、研修の仲間同士で押し合っているんですね。

いつでも応援しています！

須釜　このへんで、研修生へのアドバイス、メッセージをいただければと思います。

菅原　復職研修で家を空けること自体が、自分自身と子どもにとって、復職に向けて環境を整える練習になるかと思います。ぜひ一歩を踏み出していただきたいです。そして、復職しましたら、私たちは、いつでも応援していきます。職員一同で支えますので、ぜひ長く看護界で頑張っていただき、地域社会に貢献していただけたらいいですね。

村田　私たちは、看護師に自分だけの力でなったのではありません。多くの支援を受けて育ってきたのです。専門職だから誰にでもできる仕事ではないし、皆さんは自分自身が志して看護師になったと思います。復職したい気持ちがあるなら、ぜひ一歩踏み出してください。そして、仕事場を選ぶときは、自分の目でよく見て確かめて選ぶようにしてほしいです。まず施設に電話をする、その勇気が第一歩だと思います。

山岡　そうですね。就職したい施設があれば、電話で施設見学をお願いして、自分の目で見ることがすごく大事です。まずそれが第一歩ですと私たち就業協力員も勧めています。

木村　看護師のキャリアというのは「仕事」ととらえるのではなく、看護にとっては、妻であったり、母であったり、市民だって立派なキャリアなのです。復帰することができたら、最初から飛ばしすぎてバーンアウトしないように、少しずつ時間をかけて慣れていただきたいと思います。

須釜　おっしゃるように、主婦や子育て、社会の中で学んだことが看護の経験の一つだと思います。自分は何年やっていない、十何年やっていないと、引き算するのではなく、足し算をしていただきたいと思います。

山岡　この研修を受けるということは、一歩踏み出すことで、「研修を受けてよかった」という人がほとんどです。次は復職に向けてもう一歩踏み出して、ぜひ再就業してほしいと思います。

須釜　東京都は平成27年までの、看護職員需給見通しを策定しています。私たち東京都ナースプラザは確保・定着の推進に向けて就業相談を一層充実させ、よい成果を出させるよう頑張っていきます。

今後ともぜひご協力いただきたいと思います。本日はありがとうございました。

看護職の就職応援フェア

「看護職の就職応援フェア」が開催されました。
このフェアは、再就職希望看護職および看護学生の方と求人施設の方が、自由に情報交換していただく場として開催されています。今回のフェアは場所を新宿に移し、午前の部80施設、午後の部80施設の合計160施設が参加し、過去最大規模の開催となりました。

●主催：東京都ナースプラザ
●日時：平成25年3月16日（土）
午前の部 10:00～13:00
午後の部 14:00～17:00
●会場：新宿エルタワー
30階サンスカイルームA・B室
1階サンスカイルームC室

会場の「新宿エルタワー」は、首都交通の要衝新宿駅と西口地下通路で直結している超高層ビルです。メイン会場の30階は窓を大きくとった開放的な空間。春霞のビル群を眼下に見下ろすその向こうにはスカイツリーも臨まれました。

10時の開場からはエレベーターがフル稼働、就職希望の方が続々と降りてきます。受付前のスペースで5枚複写のエントリーカードを記入し、1枚目を受付に提出したら会場内へ。

会場に入ると左右の壁際に資料コーナーがあり、付されているNo.はブースNo.と連動していますので、興味をもった施設を探すのも楽です。ブースには施設ごとのさまざまな工夫がこらされていました。ポスターや資料の表紙、椅子の背もたれカバーなどの色使いを統一してアピールするブース、手作りのかわいい飾りつけに加えお子さん連れの方が立ち寄るとお菓子をくれるブース、お揃いのハッピ姿で威勢よく対応にあたっているブースなどなど。エントリーカードの2～5枚目は、立ち寄ったブースへ提出します。

「講演コーナー」では、就職活動に関するマナー講座、看護師による現場体験談の発表以外に、芸能人の登場もあり、来場者が面談の合間に立ち寄って聞いていました。

盛況でやや手狭感のあった1階会場は、主に東京都関連施設のブースで占められましたが、東日本大震災から2年となった福島県看護協会のブースもありました。

入場者数は346名（再就職希望看護職125名、看護学生221名）。開催日のこの日、東京では桜の開花が宣言されました。これはデータを取り始めてから最も早かった2002年に並ぶタイ記録とか。会場に足を運んでくださった方々の「サクラサク」も、きっとかなったことでしょう。

来場者の中にはお子さん連れの方の姿も

ナースプラザの「就職相談コーナー」。就職に関する悩みごとについての相談を受けています。

お笑いトリオ「我が家」によるコントとTVドラマで看護師役を好演している女優の黒川智花さんによる応援メッセージ

30階の受付。受付開始の10時には多くの方が並びました。

広い会場内を興味のある施設のブースに向かって移動中

ブースでの様子。せっかくのチャンスですので、気になることは何でも聞いてみましょう。

次回開催のご案内

●日　　時：10月26日（土）11:00～15:00
●場　　所：パレスホテル立川
4F「ローズルーム西」
●参加施設：多摩地区の病院、介護保健施設、訪問看護ステーション等35施設

看護管理者の方へ

看護職の潜在化防止のためにご協力ください

皆様が統括している病院又は施設等で、退職を希望されており今後の予定が決まっていない方に、e-ナースセンター（https://www.nurse-center.net/）への登録を勧めてください（ナースバンク東京・立川への求職登録）。ネット環境のある場合には、自宅から簡単に求職登録ができます（下記図参照）。また、ご本人の了解が得られれば、ナースプラザからご連絡を差し上げることも可能です（記入式求職票の送付等）。

看護職の無料職業紹介事業所であるナースバンク東京・立川から、再就職に役立つ情報をお届けいたします。看護職員の潜在化を防止し、看護職としてのキャリアを積み重ねられるように就業支援をするのがねらいです。ぜひご協力ください。

退職予定者へのe-ナースセンター登録奨励から、ナースバンク東京・立川による再就職支援までの流れ

病院・施設等

病院・施設等内に退職を考えている看護職員がいる

↓

退職についての確認

↓

条件が整えばすぐに就職したい
または
すぐには就職できない・予定がない

↓

離職予定者に、e-ナースセンターへの登録を奨励

ほぼ就職先が決まっている
（他道府県等への転出）

↓

看護職継続

↓

退職予定者　e-ナースセンターに登録

↓

東京都ナースプラザ（ナースバンク東京・立川）

すぐに就職したい
●就職相談対応・希望施設とのマッチング支援

すぐには就職できない・予定がない
●東京都ナースプラザ等が行う就職相談の案内、研修会、求人情報、イベント等の情報提供・発信

↓

病院・施設等への看護職員の再就職

※e-ナースセンターには、東京都ナースプラザのホームページからもアクセスできます。
また、ナースバンク東京・立川にご連絡いただければ、登録のご案内をいたします。

つれづれ……

平成37年の超高齢社会はすぐそこです。安心して、健康な生活ができる社会に向けての看護職への期待は高く、若い世代に看護職を目指していただくとともに、潜在看護職といわれる方達には、免許を活かして活躍していただきたいです。

日本看護協会の積極的な職場環境改善などへの取組みや国の法改正、各病院の取組みなどにより、看護職員の離職率は改善されています。特に新人看護師の離職率は下がってきており、定着への期待も高まっています。

看護職の働く場はとても幅広く、領域や勤務時間等も多様です。家庭や地域で過ごした時間は、看護をするうえで貴重な経験・強みです。そうはいっても復職への不安はあるでしょう。東京都ナースプラザでは、研修や地域就業支援研修などのメニューを揃えて復職を支援しています。『人生の中で、今日が一番若く、離職期間も一番短い』をモットーに、復職する皆さんが「やっぱり看護が好き」を実感できるよう、職員一同日々頑張っています。

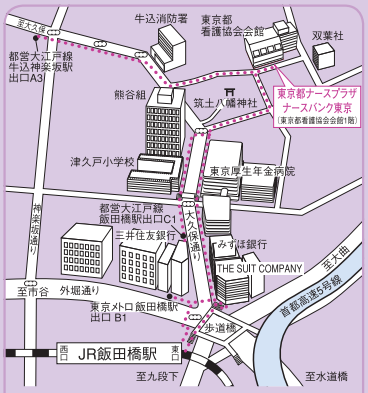
（N・S）

●都内で13番目に多い街路樹●モミジバフウ

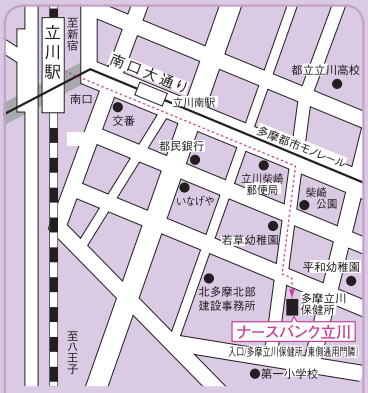
表紙イラストの「モミジバフウ」は、こんな木です。

モミジバフウは、北米～中南米の原産で大正時代に渡来しました。漢字で書くと紅葉葉楓で、葉の形もモミジやカエデを大柄にした感じなので、同じ仲間と思いきや、じつはマンサク科フウ属で、別名アメリカフウともいいます。秋の紅葉は真紅～黄色が混在し、とてもきれいです。トゲトゲで球形の実は、晩秋頃に種を飛ばし終わると空洞になり、何ともユニークな造形物ができあがります。

ところで、今回の表紙は23区を離れて「青梅市」を取り上げました。川辺駅前の円形の歩道橋をモチーフにしています。青梅市のモミジバフウの街路樹は、小作駅から青梅インターチェンジ方面に向かうルートに2kmほど。プレートには「アメリカフウ」とあります。紅葉をお楽しみに。



ナースバンク東京 TEL03-3359-3388



ナースバンク立川 TEL042-529-7077

ACCESS

ナースバンク東京
- ●JR中央・総武線　飯田橋駅東口から徒歩7分
- ●東京メトロ東西線・有楽町線・南北線　飯田橋駅　出口B1から徒歩6分
- ●都営大江戸線　飯田橋駅　出口C1から徒歩5分
- ●都営大江戸線　牛込神楽坂駅　出口A3から徒歩5分

ナースバンク立川
- ●JR中央線・青梅線・南武線　立川駅南口から徒歩10分
- ●多摩都市モノレール線　立川南駅から徒歩8分

東京都ナースプラザ 検索

●ホームページ:https://www.np-tokyo.jp/
●E メ ー ル:np@np-tokyo.jp

TOKYO ナースプラザ やっぱり看護が好き Vol.58（3月・9月の年2回発行）
発行：東京都ナースプラザ　設置主体／東京都　運営受託者／公益社団法人東京都看護協会
〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町4-17 東京都看護協会会館1階　Tel 03-3359-3355　Fax 03-3260-9066

平成25年9月1日発行
再生紙を使用しています
石油系溶剤を含まないインキを使用しています